

第2回 ショートハンドチャレンジ 1・2・3 帆走指示書 (Sailing Instructions)

【開催日】 2017年6月17日(土)

【開催地】 小網代沖から城ヶ島南西沖ブイ周辺海域

【主催】 公益財団法人 日本セーリング連盟 加盟団体 外洋三崎

【協力】 公益財団法人 日本セーリング連盟 特別加盟団体 逗子マリーナヨットクラブ

【運営】 第2回ショートハンドチャレンジ1・2・3実行委員会

1. 適用規則

本レースは、セーリング競技規則2017-2020(RRS)に定義された規則を適用する。

2. 競技者への通告

- 2-1 レース前日までの通告はJSAF外洋三崎のWebサイトに掲載する。
- 2-2 レース当日の通告は、7:00~9:00の間、レース本部に掲示される。
- 2-3 通告を海上で行う場合は、本部船にL旗を掲揚し口頭により各参加艇に通告する。
- 2-4 レース運営に関する信号は陸上のレース本部では発しない。

3. 帆走指示書の変更

変更はSI2「競技者への通告」に準じて行う。

4. レース日程

2017年6月17日(土)

スタート予告信号	10:25
タイムリミット	14:30
表彰式	16:30 (開場 16:00)

艇長会議は開催しない。
レース予備日は設けない。

5. 出艇申告および乗員変更

- 5-1 出艇申告は、2017年6月17日(土)7:00~9:00の間、レース本部にて口頭もしくは電話で受け付ける
- 5-2 乗員に変更がある艇は、2017年6月17日(土)7:00~9:00の間、変更を記した書面をレース本部またはメールにて提出すること。
- 5-3 レース本部の所在、電話番号、メールアドレスは、SI21に記載している。

6. 部門及びその識別とクラス分け

- 6-1 すべての部門はPHRF部門のみとし、参加全艇にレース委員会が決したハンディキャップを付与し、順位を算出する。
- 6-2 部門及び部門識別リボンは以下とする。

部門	部門識別リボン
----	---------

- ① シングルハンド部門 : 白
- ② ダブルハンド部門 : ピンク
- ③ トリプルハンド部門 : 緑

参加艇は、部門識別リボンを艇後部の目立つ位置(デッキから1.5m以上の高さ)に掲揚すること。

6-3 クラス

- ① シングルハンド部門 : 1クラス
 - ② ダブルハンド部門 : 1クラス
 - ③ トリプルハンド部門 : 2クラス
- クラス毎の識別旗は設けない。

6-4 リコールナンバー

セールナンバーの無い艇、及びセールナンバーがあってもJSAF未登録の艇については、予め渡されたリコールナンバーをバウパルピット付近の両舷に付けること。

7. コース

7-1 レースコース

小網代沖(網代崎灯浮標付近) ⇒ 城ヶ島南西沖ブイ(反時計廻り) ⇒
小網代沖(網代崎灯浮標付近)

7-2 距離

約10マイル

7-3 コースを短縮することはない。(RRS32の変更)

7-4 コースのレグを変更することはない。(RRS33の変更)

8. 海上チェックイン

レース当日の10:15までにL旗を掲揚した本部船のスターンを右に見て近くを通過し、艇名と乗員数を告げ全乗員のライフジャケット着用の確認を受けること。

9. スタート

9-1 全艇一斉にスタートとし、予告信号旗としてはW旗を使用し、準備信号旗はP旗のみとする。

スタートシーケンスはRRSに従って次の通りとする。

5分前	W旗掲揚	音響1声	予告信号
4分前	P旗掲揚	音響1声 (場合によってはI旗など)	準備信号
1分前	P旗降下	長音1声	1分
スタート	W旗降下	音響1声	スタート信号

9-2 レース開始を艇に注意喚起するために、予告信号を発する最低5分以前に、本部船に音響1声とともにオレンジ旗を掲揚する。

9-3 スタートラインは、スターボードエンドに停泊する本部船のオレンジ旗を掲揚したポールと、ポートエンドの黄色円筒形ブイの間とする。

9-4 スタート信号後30分より後にスタートする艇は審問なしにDNSと記録される。 (RRS A4の変更)

10. フィニッシュ

10-1 フィニッシュ・ラインは、青色旗を掲揚した本部船のオレンジ旗を掲揚したポールと黄色円筒形ブイの間とする。

11. インспекション

事前のインспекションは行わない。

フィニッシュ後の適切な時にレース委員長の判断により、フィニッシュした全艇又は任意に選択した艇に対して実施されることがある。

12. ペナルティーの方式

- 12-1 RRS29. 1に関わる規則変更については、OCSに代えて5%のタイムペナルティーを課す。
その場合にはレース委員会からの抗議を必要としない。(RRS A4の変更)
- 12-2 その他の規則違反について、プロテスト委員会の裁量により失格に代わる罰則として裁量ペナルティーを科すことがある。

13. タイムリミット

- 13-1 タイムリミットは14:30とする。
- 13-2 棄権や失格以外にタイムリミット内にフィニッシュしなかった艇は審問なしにDNFと記録される。(RRS A4、A5の変更)

14. 抗議と救済要求

- 14-1 抗議はRRS61に従い抗議の意思を相手艇に伝えるとともに、フィニッシュあるいはリタイア後速やかにレース本部へ電話連絡した上で、フィニッシュあるいはリタイア後1時間以内に所定の書面(抗議書)をレース本部に提出しなければならない。
抗議締切時刻は自艇のフィニッシュあるいはリタイア時刻の1時間後とする。
- 14-2 抗議書の提出はレース本部への電子メールに代えることができる。ただし、抗議書の原本は審問の際に提出しなければならない。
- 14-3 審問日時は公式掲示板に掲示される。またサービスとして抗議艇、被抗議艇双方への電話連絡も行うが、これに伴う受信の有無は救済の根拠とはならない。
証言艇がある場合は、それぞれで手配すること。
- 14-4 SI17、SI18に関する違反は艇による抗議の根拠とはならない。(RRS60. 1(a)の変更)

15. 得点

- 15-1 得点方式
PHRF(Performance Handicap Racing Fleet) を用い、Time-on-time方式を適用し順位を決定する。
- 15-2 成績算出における計算式は以下の通りとし、CTの少ない艇を上位とする。
 $CT(\text{修正時間}) = ET(\text{所用秒}) \times TCF(\text{ハンディキャップ})$
TCFはSHC123バージョンの数値を用いる。
- 15-3 レースの成立
各部門、各クラスともに、1艇以上のタイムリミット内フィニッシュをもって、レース成立とする。

16. 賞

- 賞は以下の通り与えられる。
- ・各部門のファーストホーム
 - ・各部門 1 ~ 3位
 - ・各クラス 1 ~ 3位
- 主催者は上記以外の賞を設ける場合がある。

17. 安全規定

- 17-1 全乗員は離岸から着岸の間、有効な浮力を有するライフジャケットを着用しなければならない。
膨張式ライフジャケットについては緊急時に有効に稼働させるため、適時に点検を行うこと。
- 17-2 船舶検査に基づいた装備、備品に加え携帯電話最低1台、所有していればVHF送受信機を搭載していること。

18. 特別規定

オートヘルム、オートパイロット、及び電動ウインチはレース中(準備信号～フィニッシュ)の使用を禁止する。

19. 通信手段

参加艇とレース委員会間の通信手段は、携帯電話とする。
ただし緊急時は連絡手段を問わない。

20. 運営艇

20-1 本部船

艇種 : モーターボート(パースト30)
艇名 : トレッキー
色 : 白
旗 : 外洋三崎大クラブ旗

20-2 運営艇(各種サポート、撮影)

艇種 : モーターボート(YS21CC)
艇名 : 京急R5
色 : 白
旗 : 京急マリーナ旗

21. レース本部

油壺京急マリーナ1Fテラス (神奈川県三浦市三崎町諸磯1574)
設置期間 : レース当日の7:00~15:00
電話番号 : 090-2217-1646 , 090-2225-0066
メールアドレス : shc123-2017@misaki-ocean.jp
その他通信設備 : VHF72chを開設中ワッチしている。

22. 問い合わせ

問い合わせ、質問はEメールのみで対応する。

- ・艇名、質問者氏名、日付を明記し、出来るだけ箇条書きにて問い合わせること。
- ・質問内容と回答は各艇連絡責任者に、Eメールにて開示することがある。

宛先 : 第2回SHC123実行委員会
レース事務局メールアドレス: shc123-2017@misaki-ocean.jp
外洋三崎 URL : <http://www.jsaf.or.jp/misaki/2017/index.html#short>